

「共働きテレワーク対応の暮らし」

プランB

ポイント

コンセプト

共働き夫婦を想定し、それぞれがテレワーク作業ができるように**均等にワークスペース**を設置。
同じ空間で互いを感じつつも、**干渉しすぎない**ような住戸を目指す。

玄関には全身鏡をつける。
ウォークインクローゼットに収納している靴やコートも合わせてコーデをチェックできる。

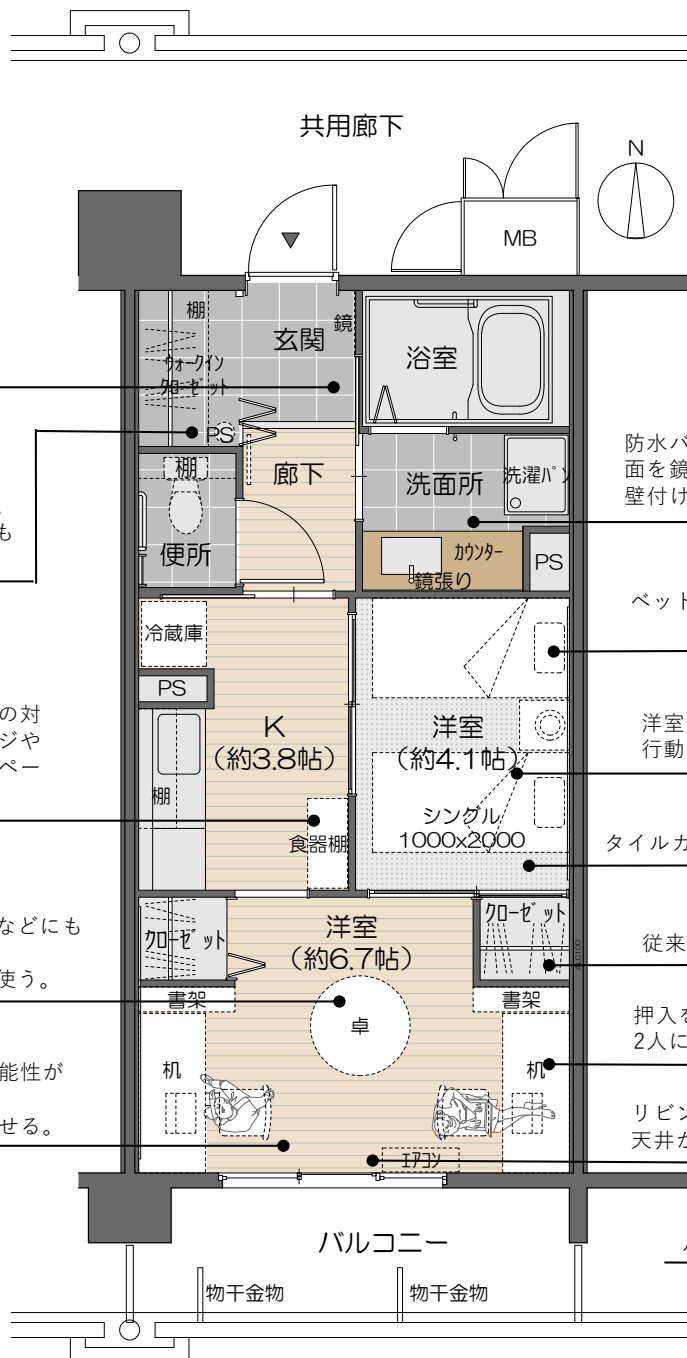
玄関先の広いウォークインクローゼットで収納力をカバー。
靴だけでなくコートやアウトドア用品も収納できる土足でも素足でも利用できるように計画する。

従来のキッチンの幅を活かし、流し台の対面に食器棚を設置。その上に電子レンジやトースターを置くことで、限られたスペースを有効に使える。

中央の円卓は食事以外にも打ち合わせなどにも活用できる。
利用時はそれぞれの椅子を移動させて使う。

南面の和室はリビングとして使用される可能性が高い。
フローリングに変え、現代の生活に対応させる。

タイプ：2K
対象世帯：夫婦世帯



事業趣旨：若年世帯をターゲットとし、空き家率・高齢化が進んだAタイプ住戸の改修提案を行う。

設計趣旨：1世帯当たりの**居住年数を延ばす**ため、将来性のあるプラン計画を行う。限られた空間・予算の中で、最大限の**間取り・内装の改修**を行う。

防水パンを移動させ、カウンターの幅を拡大。一面を鏡張りにし、2人が並んで使用できるように。壁付け戸棚で収納力UP

ベッドのヘッドボードにはコンセントやナイトライトで快適に

洋室にはシングルベッドを2台設置。行動時間が異なっても相手の邪魔をしない。

タイルカーペットと吸音壁で周辺の騒音を遮断。

従来のクローゼットを活かす。

押入を撤去した凹みにデスクと書架を設置。2人に均等なワークスペースを与える。

リビングの天井は躯体をあらわし高さを出す。天井からスクリーンを垂らすと、作業場の仕切りにもなる。

ルームシェアとしても利用できる

イメージ

B

